

第八回委員会議録

| | | | | | |
|---|-----------------------|--------------|--|----------------|--|
| 日時 | 令和6年2月22日 13:30～16:30 | | 場所 | 新潟市役所ふるまち庁舎・現地 | |
| 出席者 | 委員 | | 栗野隆委員長・金出ミチル委員（リモート）・松本恵樹委員・山崎誠子委員（リモート） | | |
| | アドバイザー | | 青木達司調査官（文化庁文化財第二課） | | |
| | オブザーバー | | 小野本敦主任調査員（新潟県観光文化スポーツ部文化財課） | | |
| | 新潟市関係課担当職員 | | 中央区地域課：引地 中央区建設課：石黒 | | |
| | 指定管理者 | | 阿部・白井 | | |
| | 事務局 | 新潟市歴史文化課 | | 萬歳・廣野・小林・小松 | |
| | | (株)文化財保存計画協会 | | 矢作（記録） | |
| 内容： 第八回委員会議録（委員等からの主な指摘事項） | | | | | |
| <p>報告事項</p> <p>（１）令和6年能登半島地震による被害について（資料1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石造物の地震被害について、東日本大震災の時に調査した結果、揺れにともなって石造物のどの部分に負荷がかかるかというと竿の付け根部分であった。この部分にひび割れなどの破損が顕著に表れていた。（栗野委員長） ・建造物の剥離と亀裂、崩落とあるがどのくらいの規模の被害なのか(金出委員) →壁の全体が崩落するといった大規模なものではなく小さな一部が剥がれ落ちたり、細かい亀裂が入るなど軽微な被害である。（事務局） ・今後災害復旧事業などどのように進めていくか関係機関と協議しながら進める。（事務局） <p>（２）令和4年度工事について（資料2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関の排水改善工事を実施したが効果はどのような印象か。（松本委員） →それなりに効果はあったと思うが、大雨になると完全には浸透しない。（指定管理者） ・田舎屋の屋根を整備するさいに大きな樹木に干渉する部分があったと思うがどのような処理をしたのか。（金出委員） →樹木に干渉する箇所を切り欠いて若干の離隔を設け整備した。（文計協） <p>（３）本年度庭園工事の状況について（資料3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境界塀は既存のブロック塀基礎の隣に設置するとのことだが田舎屋等の庭園工作物と干渉することはないのか。（金出委員） →境界塀と田舎屋は離隔が大きくあるため干渉することはない。既存のブロック塀があった場所のすぐ脇であり、植栽帯の掘削した個所に基礎を設置するためその他の工作物とも干渉はしない。（文計協） | | | | | |

(4) 旧齋藤家別邸擁壁整備事業について(資料4)

・擁壁工事の議題が過年度に出た際に指摘した点について、工事の過程で当初の地盤が盛土をしたものか新潟砂丘を切通してできたのか状態等を確認することはできたか。(栗野委員長)

→今回整備した工法は細い鉄筋を穴に挿入し固定させる方法のため、当初地盤を確認できる状態にはならなかった。(事務局)

・

以上